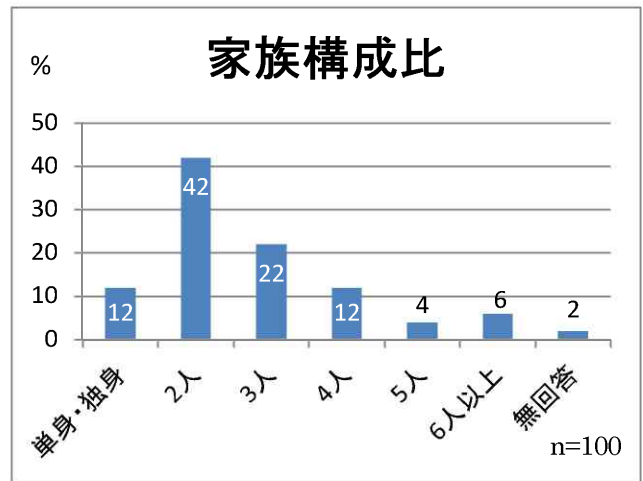
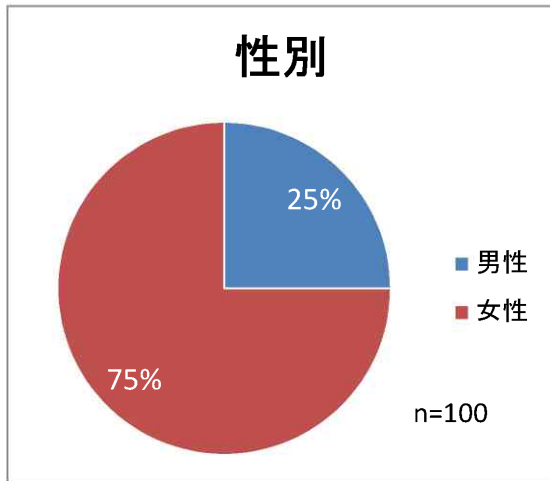


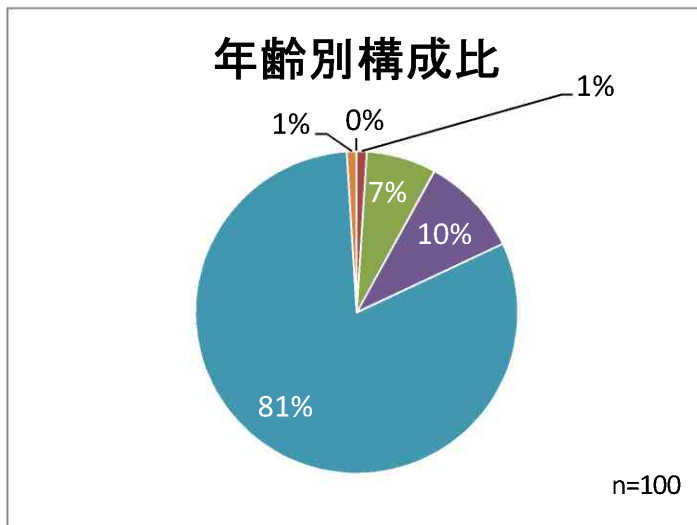
## 重要動向調査（平成 28 年度）

### 1. プレミアム商品券利用者アンケート調査結果

#### (1) 回答者の属性



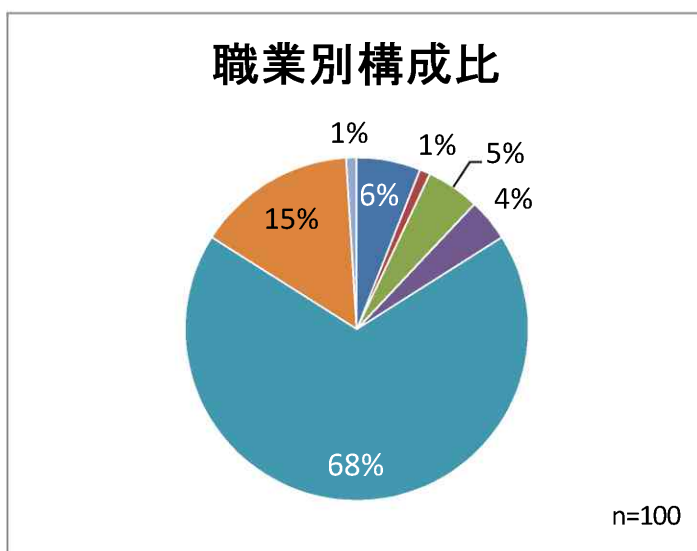
#### <年齢別構成比>



本アンケートにおける需要動向は調査対象の年齢帯の多くが 60 代以上の高齢者が中心であったことが色濃く反映していると予想される。そのことから地域の年齢帯構成により需要構造に差が生じることが予想され、年齢構成に応じた需要予測、アプローチが必要とされる。



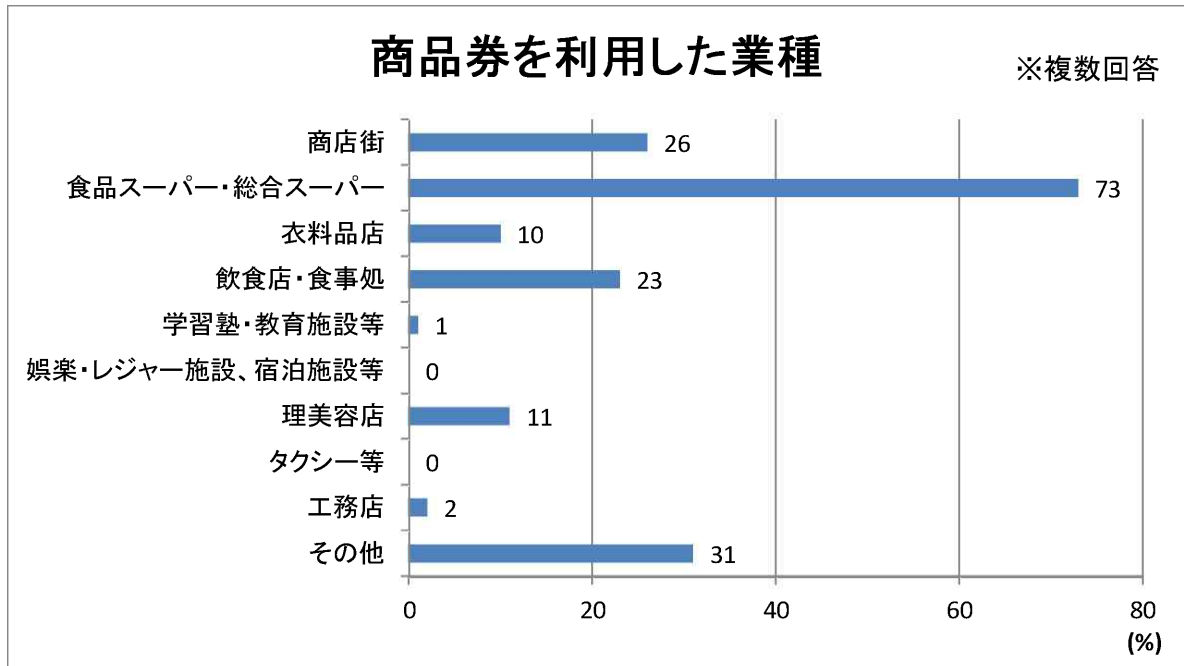
#### <職業別構成比>



主婦(夫)が約 7 割を占める。

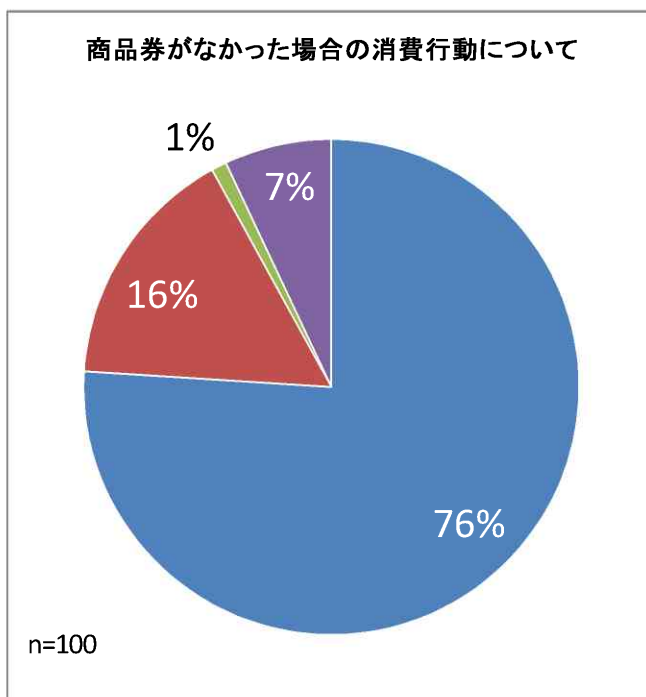


(2) プレミアム商品券を利用した業種



利用業種は「食品スーパー・総合スーパー」が多く、最寄品等の買物にプレミアム商品券を利用する傾向が強く表れている。

(3) プレミアム商品券がなかった場合の消費行動



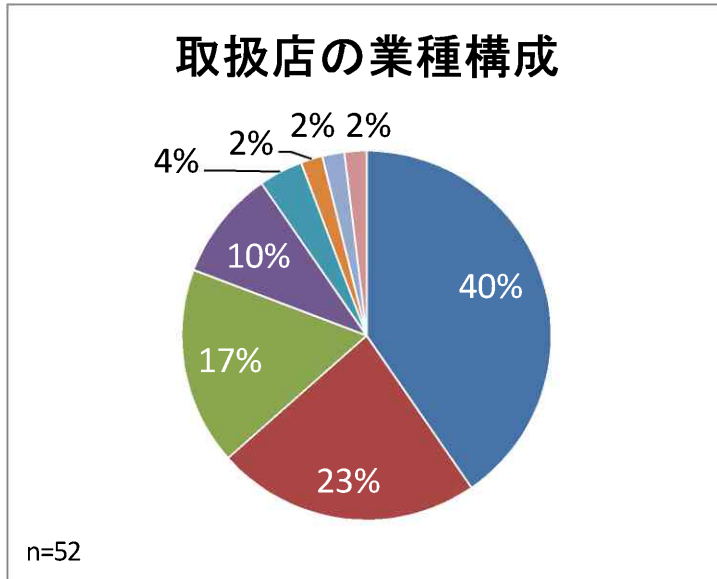
商品券がない場合の消費行動としては、「地元以外で購入する」が16%、「買うのをやめる」が1%と回答しており、少なからず地域内消費を抑制していることがわかる。

しかし、76%は「地元で購入する」と回答していることから、日常の買い物や生活に密着した商品・サービスを提供することは店舗マーチャндаイジング戦略の観点からみても有用性がある。

- 地元で購入する
- 地元以外で購入する
- 買うのをやめる

## 2. プレミアム商品券取扱店アンケート調査結果

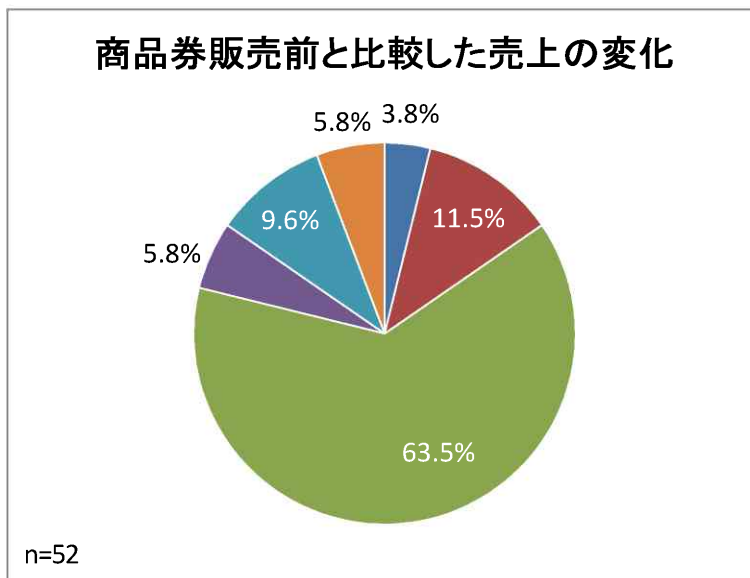
### (1) 取扱店の業種構成



「小売」が40%、「サービス」が23%、「飲食」が17%と、全体の80%が小売・飲食・サービスで占めている。

■ 小売  
■ サービス

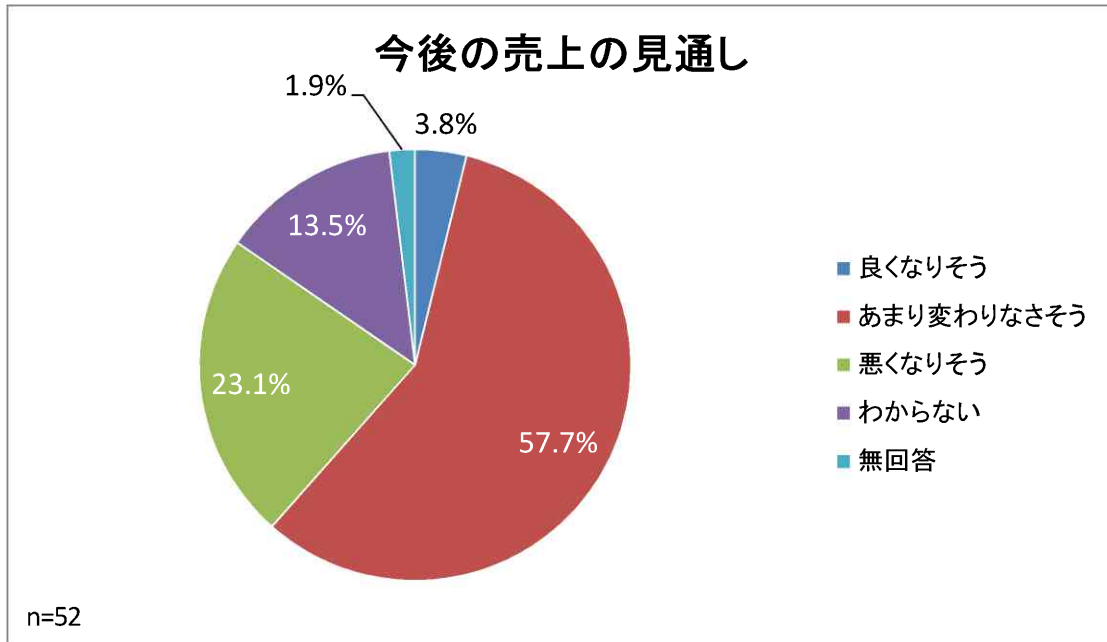
### (2) プレミアム商品券販売前と比較した売上の変化



売上が増加したと回答した店舗は約15%。60%強は「変わらなかった」と回答。

■ 10～20%増加した  
■ ～10%増加した  
■ 変わらなかった  
■ 減少した

(3) 今後の売上の見通し

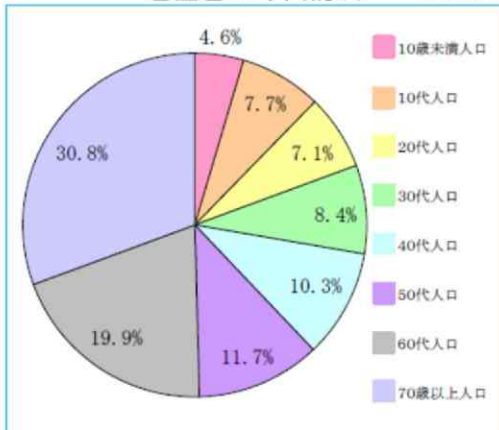


今後の売上見通しについて、「良くなりそう」と回答した店舗は約4%で、「あまり変わりなさそう」と回答した店舗は約58%。「悪くなりそう」と回答した店舗は約23%であった。「良くなりそう」と回答した割合から「悪くなりそう」と回答した割合を差し引いた売上見通しDIは▲19.3と、今後の景況感は厳しい見通しになっている。

### 3. 町丁字別の需要動向

#### (1) 大字採銅所

居住者の年代構成 2016年



#### 年代構成

60代未満の人口:49.3%

60代以上の人口:50.7%

町内の60代以上の人口割合は46.3%であり、当町丁は高齢化率が4.4ポイントほど高い。中でも特に70歳以上の人口割合が高い町丁である。

【特徴】大字採銅所の消費動向として、1)食料品、2)住居費、3)家事・家具用品、4)被服及び履物、5)保険・医療関連、6)教養娯楽が他の品目に比べて支出額が多い。

高齢化率が高いことにより、教育費、テレビゲーム機、玩具、子供用洋服、シャツ・セーターへの支出は低調である。

分野別水準判定では、持ち家世帯比率が高いこと等から「安定」の項目が高水準だが、昼夜間人口比及び民営事業所比率が低いことから「流入」の項目は低水準である。

#### 分野別水準判定

分野	偏差値	水準判定
規模	43.94	-
安定	58.81	++
富裕	44.56	-
流入	39.00	—
密集	43.87	-
成長	49.14	=
総合	46.55	-

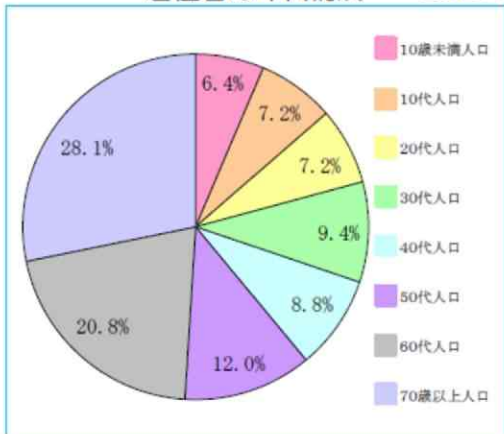
符号の意味: ++高水準、+やや高水準、  
=平均水準、-やや低水準、—低水準

#### 消費支出額の偏差値が高い分類、細目

分類	細目
1)食料品	魚介類
	野菜・海藻類
	果物
2)住居費	設備修繕・維持費
	設備材料
3)家事・家具用品	冷暖房用器具
	家事サービス
4)被服及び履物	生地・糸類
5)保険・医療関連	医薬品
	健康保持用摂取品
	保健医療サービス
6)教養娯楽	切り花
	園芸用品
	パック旅行

(2) 大字香春

居住者の年代構成 2016年



年代構成

60代未満の人口:48.9%

60代以上の人口:51.1%

町内の60代以上の人口割合は46.3%であり、当町丁は高齢化率が4.8ポイントほど高い。

【特徴】大字香春の消費動向として、1)食料品、2)住居費、3)家事・家具用品、4)被服及び履物、5)保険・医療関連、6)教養娯楽の支出が他の品目に比べて支出額が多い。

高齢化率が高いことにより、教育費、テレビゲーム機、子供用シャツ・セーターへの支出は低調である。分野別水準判定では、小売中心地性及び民営事業所比率が高いことから「流入」の項目で高水準となっている。

分野別水準判定

分野	偏差値	水準判定
規模	44.86	-
安定	52.17	=
富裕	44.73	-
流入	60.51	++
密集	44.90	-
成長	49.28	=
総合	49.41	=

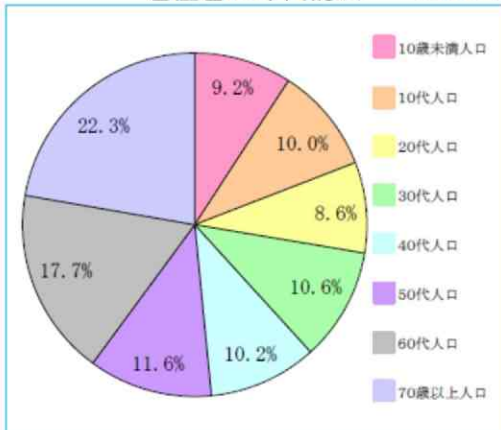
符号の意味: ++高水準、+やや高水準、  
=平均水準、-やや低水準、-低水準

消費支出額の偏差値が高い分類、細目

分類	細目
1)食料品	魚介類
	果物
2)住居費	設備修繕・維持費
	設備材料
3)家事・家具用品	冷暖房器具
	家事サービス
4)被服及び履物	和服
	生地・糸類
5)保険・医療関連	医薬品
	健康保持用摂取品
6)教養娯楽	ゴルフ用具
	切り花
	園芸用品
	手芸・工芸材料
	バック旅行

(3) 大字高野

居住者の年代構成 2016年



年代構成

60代未満の人口:60.0%

60代以上の人口:40.0%

町内の60代以上の人口割合は46.3%であり、当町丁は高齢化率が6.3ポイントほど低い。

【特徴】大字高野の消費動向として、大字中津原に次いで全般的に消費支出が高く、特に1)被服及び履物、2)保険医療関連、3)教育費、4)教養娯楽が他の品目に比べて支出額が多い。

全体的に消費活動が活発な地域である中で、特に現役世代、子育て世代が多い地域であることから、教育関係、子供関係品目の需要が相対的に高くなっている。

分野別水準判定では、軒並み好調で、昼夜間人口比、小売中心地性、民営事業所比率のいずれも高いことから「流入」の項目で高水準となっている。

分野別水準判定

分野	偏差値	水準判定
規模	55.51	+
安定	42.89	-
富裕	55.36	+
流入	59.69	++
密集	55.13	+
成長	55.82	+
総合	54.07	+

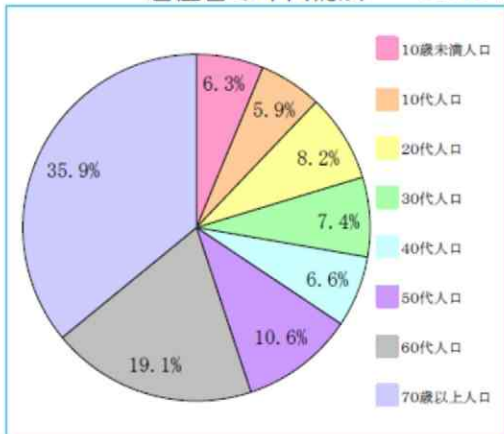
消費支出額の偏差値が高い分類、細目

分類	細目
1)被服及び履物	子供用洋服
	子供用シャツ・セーター
2)保険医療関連	コンタクトレンズ
3)教育費	授業料等
	教科書・学習参考教材
	補習教育
	幼児・小学校補習教育
4)教養娯楽	テレビゲーム機
	他の玩具

符号の意味: ++高水準、+やや高水準、  
=平均水準、-やや低水準、-低水準

(4) 大字鏡山

居住者の年代構成 2016年



年代構成

60代未満の人口:45.0%

60代以上の人口:55.0%

町内の60代以上の人口割合は46.3%であり、当町丁は高齢化率が8.7ポイントほど高い。中でも特に70歳以上の人口割合が高い町丁である。

【特徴】大字鏡山の消費動向として、1)食料品、2)住居費、3)家事・家具用品、4)被服及び履物、5)保険医療関連、6)教養娯楽が他の品目に比べて支出額が高い。

高齢化率が高いことにより、教育費、テレビゲーム機、玩具、子供用シャツ・セーターへの支出は低調である。

分野別水準判定では、65歳以上人口比率及び持ち家世帯比率が高いことから「安定」の項目が高水準だが、住民基本台帳人口伸び率及び将来推計人口伸び率が低く、「成長」の項目では低水準となっている。

分野別水準判定

分野	偏差値	水準判定
規模	42.79	-
安定	62.05	++
富裕	42.50	-
流入	53.49	+
密集	42.83	-
成長	41.27	--
総合	47.49	-

消費支出額の偏差値が高い分類、細目

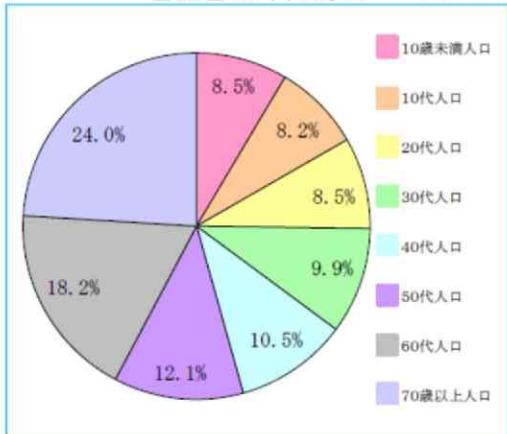
分類	細目
1)食料品	魚介類
	果物
2)住居費	設備修繕・維持費
	設備材料
3)家事・家具用品	冷暖房用器具
	家事サービス
4)被服及び履物	生地・糸類
5)保険医療関連	医薬品
	健康保持用摂取品
6)教養娯楽	切り花
	園芸用品

符号の意味: ++高水準、+やや高水準、  
=平均水準、-やや低水準、--低水準



(5) 大字中津原

居住者の年代構成 2016年



年代構成

60代未満の人口:57.8%

60代以上の人口:42.2%

町内の60代以上の人口割合は46.3%であり、当町丁は高齢化率が4.1ポイントほど低い。

【特徴】大字中津原の消費動向として、町内で最も消費支出が高く、特に1)食料品、2)住居費、3)家事・家具用品、4)保険医療関連、5)教養娯楽が他の品目に比べて支出額が多い。

また、全体的かつ満遍なく消費活動が活発な地域である。

分野別水準判定では、人口規模が大きく、年収700万円以上就業者数及び1千万円以上貯蓄高世帯数も多い為、「規模」、「富裕」共に高水準である。また、住民基本台帳世帯密度及び屋間人口密度も高く、「密集」の項目でも高水準である。

分野別水準判定

分野	偏差値	水準判定
規模	68.08	++
安定	39.15	—
富裕	68.10	++
流入	47.34	-
密集	68.24	++
成長	46.75	-
総合	56.28	+

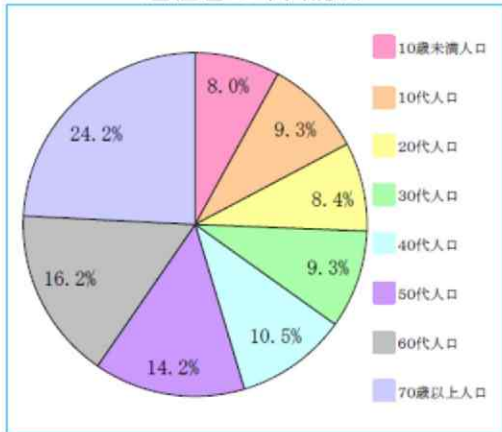
符号の意味: ++高水準、+やや高水準、  
=平均水準、-やや低水準、—低水準

消費支出額の偏差値が高い分類、細目

分類	細目
1)食料品	魚介類
	果物
2)住居費	設備修繕・維持費
	設備材料
3)家事・家具用品	家事サービス
4)保険医療関連	医薬品
	健康保持用摂取品
5)教養娯楽	切り花
	園芸用品
	書籍・他の印刷物

(6) 大字柿下

居住者の年代構成 2016年



年代構成

60代未満の人口:59.6%

60代以上の人口:40.4%

町内の60代以上の人口割合は46.3%であり、当町丁は高齢化率が5.9ポイントほど低い。

【特徴】大字柿下の消費動向として、高齢者比率が町内平均より低いにも関わらず消費活動が低調気味である。その中では、1)保険医療関連、2)教育費、3)教養娯楽が他の品目に比べて支出額が多い。全体的に消費活動が低調な地域であるが、現役世代、子育て世代が比較的多い地域であることから、教育関係、子供関係品目の需要が相対的に高くなっている。低調な理由としては、高齢者比率の高い地域では需要の高い品目が当該地域では低調であることが挙げられる。分野別水準判定では、ほとんどの項目が低調である。特に、昼夜間人口比、小売中心地性、民営事業所比率がいずれも低く、「流入」の項目は低水準である。

分野別水準判定

分野	偏差値	水準判定
規模	44.82	-
安定	44.93	-
富裕	44.74	-
流入	39.96	—
密集	45.03	-
成長	57.74	+
総合	46.20	-

符号の意味: ++高水準、+やや高水準、  
=平均水準、-やや低水準、—低水準

消費支出額の偏差値が高い分類、細目

分類	細目
1)保険医療関連	コンタクトレンズ
2)教育費	授業料等
	教科書・学習参考教材
	補習教育
	幼児・小学校補習教育
	中学校補習教育
	高校補習教育・予備校
3)教養娯楽	運動用具類
	テレビゲーム機